

課題名	37. せん定方法、袋の種類及び果房の着生位置とピロ果実の形質について								
成果の要約	1. 果肉硬度計値は、新聞紙袋をかけた果実でやや小さい傾向にあった。 2. 果房の着生位置による果肉硬度計値は、ほとんど差異がない。 3. 果実の糖度は、袋の種類及び果房の着生位置によってほとんど変わらない。 4. 果肉硬度計値の変動係数は、糖度のそれに比べて、大きい。								
成績	袋の種類及び果房の着生位置と果実品質（強せん定樹）								
	袋の種類	果房位置	果肉硬度	糖度					
概	種類	上下 南北 平均	値	標準偏差	変動係数	平均値	標準偏差	変動係数	
					(%)			(%)	
要	新聞紙	上部	南部	222.5	33.3	15.0	11.4	1.07	9.41
			北部	203.9	39.2	19.2	11.7	0.70	5.90
点	ト紙	下部	南部	208.2	33.9	16.3	11.8	0.87	7.18
			北部	221.4	45.2	20.4	11.3	0.74	6.49
普	クラ	上部	南部	296.4	51.5	17.4	11.6	0.93	8.04
			北部	270.8	42.2	15.6	12.2	1.15	9.40
及	フ	下部	南部	279.5	47.3	16.9	11.9	1.05	8.83
			北部	269.6	56.5	21.0	11.0	0.68	6.24
上	有意性								
	袋の種類	**			NS				
の	果房位置（上下）	NS			NS				
	“（南北）	NS			NS				
留									
	（長崎県果樹試験場）								
意									
	新聞紙袋を使用した場合、熟期はやや遅くなる。								
点									